



国労石川

国鉄労働組合 石川県支部
 発行人 大巻道秋
 編集人 後藤通広
 2022年4月15日 25-NO.18

ロシアは侵略戦争をやめろ！

国連憲章の2条4項は、「武力行使禁止」を定めています。ロシアによるウクライナへの侵略行為は、戦争行為であり国連憲章に違反します。このような戦争が認められれば、国際社会の秩序は崩れ、大国の行為に怯え、小国は安心した生活を維持できなくなります。

イラク戦争では、米国が侵略戦争を行い、20万人を超える民間人が犠牲になりました。その戦争に、日本も加担しています。さらに、日本自身が侵略戦争を行ったことも忘れてはいけません。プーチン政権が今回の侵略を正当化しようとする姿勢は、戦前の旧日本軍の姿に重なります。日本国憲法は、そうした侵略の過ちの反省から、「戦争放棄」を宣言しました。

一方で、今回の事態を受けて、日本の防衛力や安全保障を疑問視し、軍備増強や9条改憲を唱える人がいます。しかし、日本には自衛隊と米軍が存在し、その規模や装備は周辺国からみると脅威となっています。さらなる軍事強化は、緊張を生み、戦争を誘発する危険性もあります。また、改憲することによって、日本が米国の戦争に引きずり込まれることとなります。

戦後、日本の自衛隊はただの一人も外国人を殺していません。また、戦死者もいません。憲法9条の果たしてきた役割は、はっきりしています。どのような国に対しても、国際法違反の戦争には反対の声を上げ、核兵器廃絶の先頭に立つことが、憲法9条を持つ日本が果たすべき役割ではないでしょうか。



多くの組合員の参加をお願いします。

2022年**5月1日** 石川県中央集会
 午前10時～開会 会場 金沢市文化ホール

※新型コロナウイルス感染防止のため、体調不良の方は来場を控えて下さい。入場者はマスク着用し、受付で検温・消毒をお願いします。